

患者さんの心身を守ることが私たちの使命

泌尿器科

みずたに まさみ
山陽病院 名誉院長 **水谷 雅己**

専門分野 泌尿器科

資格 日本泌尿器科学会 専門医



医師を目指したきっかけは何ですか？

高校時代は製薬会社の研究者になりたいと思っていました。しかしある時、医学部を受けてみたらどうかと親に勧められ、興味を持つようになりました。幼い頃から、死は怖いものだと思ってきましたが、死に向き合い、患者さんと直接関わり命を助ける医師という職業に憧れを持ちました。

泌尿器科を専門とした経緯を教えてください。

性格的に、外科や内科よりもややマイナーな泌尿器科の方が自分に合っていると思ったからです。泌尿器科の医師は患者さんに、診断から手術まで全てに関わることができる診療科だと考えています。そんなところに魅力を感じました。

当院の泌尿器科へはどんな患者さんが来られますか？

男性の方がやや多いですが、女性の患者さんも多いです。症状は、排尿時の痛み、出血、頻尿などの排尿障害や、結石、性病、健康診断結果による精密検査目的など様々です。

診療で心掛けていることはありますか？

患者さんの話をしっかり聴くことです。ご自宅での生活がイメージできると患者さんに合わせた具体的な説明ができるので、お話ししやすいよう聴き方には気を付けています。

特に入院患者さんは、自宅へ帰って安心して生活できるよう、当院の訪問看護ステーションをはじめ、介護事業部のスタッフとも連携しています。

診療で力を入れていることを教えてください。

前立腺癌の検査です。MRIと超音波画像を融合し、前立腺針生検を行うことで身体に負担のない検査ができるようにしています。メリットを挙げると以下のようなものがあります。

- ① がんの検出率が向上、がんの早期発見率の改善**
MRIでがんの局在が疑われる部位を超音波ガイド下に狙い撃ち、組織を採取
- ② 無駄な生検を省略**
MRIで異常がないときは経過観察
- ③ 検査の痛みはありません**
短期入院（1泊2日）、脊椎麻酔で経陰生検を実施
- ④ 経陰生検は経直腸生検に比べ合併症が非常に少ない**

患者さんの羞恥心に対する取り組みを教えてください。

泌尿器系の疾患では、症状があっても受診が遅れがちになるため、羞恥心へのケアは特に気を遣っています。例えば女性患者さんの検査は、必ず女性看護師に介助をお願いしていますし、安心して受診してもらうことで病気の早期発見を望んでいます。

診療以外に、先生の当院での取り組みを教えてください。

患者さんの心身を守ることが私たちの当然の使命であると考えています。医療安全、感染対策の両委員会では、自分が先頭に立ち、気付いたことをアドバイスさせてもらっています。

～水谷名誉院長にプライベートなことも伺いました～

出身はどちらですか？

岐阜県です。高校まで岐阜で過ごし、大学から広島に来ました。

福山に住んでみた印象を教えてください。

広島は任侠映画の印象があり、実際に繁華街を歩いてみて、本当に映画の世界に入ったかと思いました（笑）。しかし、福山に住んでみると生活に必要なものが整っていて住みやすい街なので、このまま定住になるのかなと思います。

お休みの日は何をされていますか？

ゴルフです。家でじっとしているより、体を動かしたほうが良いと思っています。ベストスコアは90で、最終的には70台が目標ですが、まだまだ練習が必要です。良い気分転換になっています。

